

報告日 令和6年12月3日
報告回数 3日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	庄原市			代表者名	木山 耕三
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画部	連絡先電話番号	0824-73-1148
担当者役職	専門員	担当者氏名	小川正夫	連絡先E-mail	
住所	727-8501 広島県庄原市中本町1-10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	DXアクションプラン策定実施支援事業
概要	職員や管理職がデジタルを活用した業務変革に自ら取り組み、アクションプランを策定して実施していくための他団体の具体的な事例等を含めた講義やワークショップ実施を行っていただくもの。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	144	令和6年11月8日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月3日	フォローアップ(実地)	13時30分	15時45分	
				活動時間（分）	135
2-2. 派遣場所	会場名	庄原市役所	最寄駅	備後庄原	
	所在地	広島県庄原市中本町1-10-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回の研修は本市のDXを牽引する管理職向けに実施したが、DXの推進にはデジタル技術だけでなく、若手職員をはじめとした職員への上司の理解とコミュニケーションが不可欠であるという講義のほか、管理職が直面している課題の解決に向けて、ワークショップを通じて現職CDOとしての実務経験を基に個別にアドバイスを提供いただき、管理職間でのDXに対する意識共有が大きく進展した。今後も引き続き質問や事例提供などを通じてサポートいただける予定。
アドバイザーへの要望事項	引き続き課題解決の取り組みについてアドバイスをお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	35人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
人数	35	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	人口減少・少子高齢化が進む中山間地域に位置し、税収減少や労働不足等の状況が間近に迫っているため、課題解決のために明確なビジョンと戦略を描き、デジタルを活用した業務変革としてDX推進を進めようとしているが、まだ一部のプロジェクトの推進に留まっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	業務のやり方を変えていくことその手段としてデジタルが活用できることについて広く職員や管理職が理解し、他の自治体の具体的な事例等も参考にしながら、自らの抱える課題についてデジタルを活用した業務改革として実施していく全庁的DX推進の機運を醸成し、次年度においてより具体的なアクションプラン策定とその実施を目指す。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今回は、管理職を対象として組織を牽引して自ら変革を実行するための研修として、前半に講師からの講演、後半は自組織で取り組む変革の取り組みに関するワークショップを実施した。講演ではピラミッド型組織からネットワーク型組織への変容が必要であることなど、ワークショップでは、若手は根回しやコミュニケーションを先輩や管理職から学び、デジタルに苦手な職員は若手から学ぶような相互作用が重要など管理職個々にアドバイスを受けた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	今回はDXの機運醸成と取り組み推進に向けた管理職研修として実施したもので、DXの具体的な実行には道半ばであるが、DXではデジタルよりもX(変革)が重要であることや若手職員や管理職相互でコミュニケーションしながら変革を推進していくことが重要であることを多くの管理職が再認識できたことが大きな成果である。次年度に改めて藤井講師に本市の推進の進捗を報告できるように、小さな失敗や小さな成功を積み重ねてDXを進めていく予定。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 現時点は準備段階であるため、具体的な成果物はできていないが、アンケート結果からも組織を牽引する管理職の取り組みが期待でき、組織全体のDX機運醸成が着実に進んだと考えられる。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	庁内のDX推進に向けたアクションプラン検討については対応するヒアリングを実施した段階であり今後の対応になってくるため、今回の管理職研修等も踏まえて管理職の意見も取り入れながら次年度に向けて業務改革/BPRやデジタル変革の取り組みを中心とした剣客として策定し、具体的に推進していく予定である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果では「大変役に立つ」「役に立つ」が計72%であった(アンケート概要を下記6に添付)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 今回の管理職による組織の牽引の取り組みを継続し、次年度においてもデジタル変革の機運醸成と業務改革/BPRを推進していく予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員や管理職等が自課の課題についてデジタルを活用した改革を検討していく機運を醸成し、きめ細やかな行政サービス提供と地域課題解決による住民のWell-being状態実現に取り組んでいる状況。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

(1) 藤井アドバイザーによる研修の様相 (令和6年11月8日)



(2) 研修受講者へのアンケート結果 (回答数: 28)

